

2006 JPA インストラクターセミナー

パラグライダー心理学

セミナーの目的：予報、事故の分析と予防

科目

初日

- 1、 事故の影響
 - 事故を起こしたパイロット自身、家族、仲間とその家族、友達、世間一般からのパラグライダーの印象、協会、その他パラグライダー市場、スクール、保険、マスメディア
 - これらの意味することは、全てのパイロットは自己責任と社会的責任を持っているということ。
- 2、 事故の展開と歴史
 - 重大事故につながる事象。典型的な事故例。300件の小さな事故・事象のあとに大きな事故が起きる。パイロットとインストラクターはこれらの事象のあとに大きな事故が起きることを知らなければならない。
- 3、 事故の公開とプロフェッショナルによる分析の重要性（ドイツの例）
- 4、 事故の分析の難しさ（ミステイク、報告のない事故の予測）
- 5、 事故統計（2002.2003.2004）
 - 誰が、何処で、いつ、グライダー、年齢、性別、技術レベル、フライト本数、所持ライセンス、どのようなフライト状況か
 - 全ての重大事故の詳細（死亡もしくは、重傷）25例
- 6、 統計結果
 - 理由の要約
 - ヒューマンエラーの理解と認識の重要性
 - パラグライダーの危険性

7、 指導における最も大きな間違い。心理学の応用

2 日目

1、パラグライダーにおける「ヒューマンファクター」と「ヒューマンエラー」のセオリー

2、一般的なスクール生、パイロットの認識

- 習慣、欲、ニーズ、落胆
- モチベーション

3、パイロットの精神的状況

- 恐怖心における生物学的、科学的バックグラウンド
- 恐怖心と感情
- パラグライダーにおける一般的な恐怖心の分析
生徒、インストラクター、パイロット
- 生徒やパイロットの興奮度をいかに分析するか
- 極端な条件下でいかに精神をコントロールするか。
- パラグライダーにおける 恐怖心の避け方、減少の方法
精神的方法、物理的方法

4、ディスカッション